

すぎな園だより

令和8年1月1日発行 第223号

住所：松山市北吉田町77-95

TEL：974-8310

FAX：974-8340

メールアドレス：suginaen.0704@song.ocn.ne.jp



あけまして

おめでとうございます



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、様々な思いが去就している今日この頃。今回は「意思決定支援」についてお話したいと思います。

「意思決定支援」とは、簡単に言うと、人が自分の人生や日々のことについて、自分の気持ちで決めるのを手伝いすることです。例えば、「今日の夕飯は何にしようかな？」とか、「休日はどこに行こうかな？」とか。そうした一つひとつの「決める」機会は様々な場面であると思います。しかし、障害のある方の中には、情報を理解するのに時間がかかったり、自分の気持ちを言葉にするのが難しかったりする方もいます。だからと言って、周りの人が代わりに決めてしまうのは、その人の「自分で決める権利」を奪ってしまうことになります。そうすると、自分の選んだ道ではないので、納得できずに悲しい気持ちになったり、やる気をなくしてしまいそうですね。意思決定支援は、そうしたことがないように、その人が自分自身の力で「決める」ことができるように、横でそっとサポートすることです。

意思決定支援には、その人の状況に合わせて色々な形があります。まるでオーダーメイドの服を作るように、その人にぴったりの方法を見つけることが大切です。たとえば、

- ①情報を分かりやすく伝える：難しい専門用語を使わず、絵や写真、短い言葉で説明したり、何度も繰り返し話したりして、内容が伝わるように工夫します。
- ②気持ちを引き出す：「何が好き？」「どうしたい？」など、具体的に質問したり、楽しい活動の中で本音を引き出したりします。
- ③選択肢を一緒に考える：「Aの道とBの道、どちらを選ぶ？」と問いかけ、それぞれの良い点、困る点を一緒に考えて、その人が納得して選択できるように手伝います。
- ④「自分で決める」を尊重する：時間がかかっても、失敗しても、その人が自分で決めたことを「いいね！」と受け止めて、応援します。

最終的には、支援を受けた方が「これは私が選んだことだ」と自信を持って言えるようになることが、意思決定支援のゴールです。

意思決定支援について、なんとなくイメージして頂けたでしょうか？ちなみに、ここまでの文章はAIで作成しました。最近のテクノロジーの進化には目を見張りますね！でも、支援はテクノロジーだけでは難しいし、人と人との関係性がとても重要であると考えています。便利になった物は活用しつつ、利用者さんとの信頼関係を築きながら少しずつでも皆さんの意思を汲み取る事が出来るような支援が出来ればいいな、と思う次第です。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

文責：田中 健太



美術館



えひめけんびじゅつかん
愛媛県美術館では、光の映像を融合した「光の切り絵」幻想的で不思議な空間にうっとり♪

外出活動

温泉



おんせん 温泉にゆっくり浸かり日頃の疲れを癒しました♪
ちゅうしょく がいしょく 昼食は外食で美味しそうに食べられました。
おんせんない しゃしん ※温泉内の写真はありません

買い物



エミフル松前へフードコートで好きなメニューを選び
あっという間に完食！そのあとにそれぞれお目当ての
品物を買いました☆

もちつき大会



毎年恒例のN T Tさん主催の餅つき大会が開催されました。賑やかな雰囲気の中、楽しい時間を
過ごしました。

クリスマス会



マジックショー、手話コーラス「にじいろ」、
サンタさんからプレゼント
みんなでワイワイ楽しみました！

新しい職員の紹介☆

令和7年の12月からすぎな園に入職しました小林達也です。
障がい福祉の仕事に携わり、約15年が経ちます。今までの経験を活かし、利用者さん一人一人が自分らしく、楽しく過ごせるようにサポートさせていただこうと思ひます。



濱崎組様からクリスマスケーキをいただきました！みんな美味しそうに食べられていました。
ありがとうございました m(_ _)m



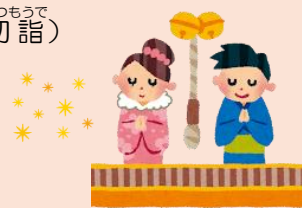
1月行事予定☆

7日(水)
8日(木)
9日(金)
13日(火)

外出活動(初詣)

12日(月)
16日(金)

成人の日
新年会



文責:川辺 美由紀